



自立課題



近年、放課後等デイサービスの利用者が増加しており、事業所の数も増えてきています。その中には、コミュニケーションをとることが難しいお子さんや他者からの指示や援助を必要とすることが多いお子さんを受け入れているところもあるようです。

そうしたお子さんが楽しめる活動を設定することに難しさを感じ、提供する活動に悩んでいる方もいらっしゃるかもしれません。そんな時はお子さんの認知レベル、興味・関心や得手・不得手に合わせて課題を設定できる「自立課題」を試してみたいかがでしょう。

一口に自立課題と言っても、多くの種類が存在し、例えば、プットイン、マッチング、1対1や型はめ等があります。今回は、「自立課題」の中から“微細・目と手の協応”の課題を具体的に紹介します。

●○●○● 微細・目と手の協応 ●○●○●

1対1対応課題



<ねらい>

- ・目と手の協応
- ・指先を使ってものを掴む
- ・物を目標に向けて動かす
- ・位置を確認してものをはめる

<手順>

- ①駒を型にはめる

<教材の作り方>

型はめに使用する容器と駒を用意する

<工夫>

駒は扱いやすい大きさにする

<アレンジ>

素材や大きさを変えて難易度を調整する

ピンセットやお箸を使い「物をつまむ」課題にする

組み立て



<ねらい>

- ・指先を使ってものを掴む
- ・両手を使ってものを合わせる

<手順>

- ①同じ色のカプセルを取る
- ②カプセルを合わせてはめる
- ③完成したカプセルをできあがりの場所に置く

<教材の作り方>

カプセルと空き箱を用意する

箱にしきりを作る

出来上がり部分(右側)に完成したカプセルの写真を貼る

<工夫>

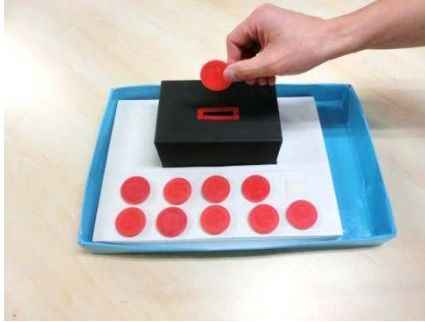
扱いやすい大きさのカプセルにする

<アレンジ>

カプセルの色や大きさ、形を変えて、難易度を調整する

●○○●○○● 微細・目と手の協応 ●○○●○○●

フットイン



<ねらい>

- ・目と手の協応
- ・指先を使って物を掴む
- ・物を目標に向けて動かす
- ・力加減のコントロール

<使い方>

- ①コインを手に取る
- ②落とし穴とコインも向きを調整する
- ③コインを落とす

<教材の作り方>

- コインと箱を用意する
- 箱にコインの大きさの穴をあける
- 穴の縁にコインと同じ色テープを貼る
- コインにベルクロテープを付けて固定する

<工夫>

- 落とし穴の縁に色テープを付け目立たせる

<アレンジ>

- ビー玉や棒など落とす素材を増やす
- 箱の中に鈴を付けて、感覚を楽しめるようにする

ボタンはめ



<ねらい>

- ・目と手の協応
- ・指先を使って物を掴む
- ・右手と左手の協力動作の強化

<使い方>

- 魚を同じ色のボタンにはめる

<教材の作り方>

- フェルトとボタンを用意する
- フェルトを魚と海の形に切る
- 海のフェルトにボタンを縫いつける
- 魚のフェルトにボタンの穴をつける

<工夫>

- ボタンを大きくし扱いやすくする
- ボタンを通す穴を少し大きくしておく
- ボタンはきつく縫いつけずに糸を長くする
- 興味を持てるキャラクターを使う

<アレンジ>

- ボタンの大きさや糸の長さを短くして、難易度を調整する

●○○●● 微細・目と手の協応 ●○○●●

洗濯ばさみを挟む



果物のパッキング



<ねらい>

- ・目と手の協応
- ・指先を使って物を掴む
- ・力加減のコントロール

<使い方>

- ①洗濯ばさみ（果物）を取る
- ②親指と人差し指で洗濯バサミの口を開く
- ③目印の上に洗濯ばさみを挟む

<教材の作り方>

- 厚紙で木を作る
- 洗濯バサミに果物を貼り付ける
- 洗濯ばさみを挟む所に印をつける

<工夫>

洗濯ばさみにイラストを付けることで興味を引きつける
どこに何個付ければ良いのか分かり易くするため目印を付ける

<アレンジ>

洗濯ばさみに付けるイラストは、果物や昆虫など子どもの興味に合わせて動機付けを高める
洗濯ばさみと印の色を合わせて「色マッチング」課題にする

<ねらい>

- ・目と手の協応
- ・指先を使って物を掴む
- ・両手の協応
- ・写真と実物をマッチングする

<使い方>

- ①ケースを取る
- ②ケースに貼ってある写真と同じ果物をケースに入れる
- ③青い蓋をはめる
- ④できあがりの場所に置く

<教材の作り方>

- ケースとくだものと箱を用意する
- 箱にしきりを作り材料を分ける
- ケースに入れる果物の写真をケースに貼る

<工夫>

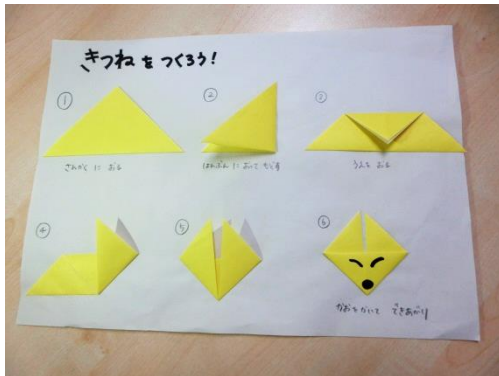
- ケースは扱いやすいものにする
- ケースに入れるアイテムは興味あるものを使用する
- 入れる物の指示は、子どもに合わせて掲示する（写真・絵・文字）

<アレンジ>

- 容器を、ケース・チャック付き袋・ファスナー付き袋・ボトル・タッパー等にする
- 数量を設定して、「数の概念」の課題にする

●○○●○○● 微細・目と手の協応 ●○○●○○●

折り紙(キツネ)



<ねらい>

- 微細運動のコントロール
- 手の協応
- 力加減のコントロール
- 手順書の理解

<教材の使い方>

- ① 手順書に沿って折り進める
- ② 目と鼻を描く

<教材の作り方>

折り紙をひと工程ずつ折り、手順書を作成する
折り目を確認できるように貼る

<工夫>

- 折る回数の少ないものから選ぶ
- 折り目に点線を付ける
- 紙を重ねる箇所に印を付ける